



こくたか連携だより



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

地域医療支援・連携センター (TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

3月号

(第86号・平成26年発行)

「女性に多いがんの話」「地域医療連携について」 ～第18回 市民公開講座を開催しました～

第一部 「女性に多いがんの話」

座長	高崎総合医療センター名誉院長 須藤病院名誉院長	石田 常博 先生
「乳腺・甲状腺がんについて」	第二外科系診療部長	鯉淵 幸生 先生
「子宮頸がんについて」	産婦人科医長	青木 宏 先生
「子宮体がんについて」	産婦人科部長	伊藤 郁朗 先生



第二部 「地域医療連携について」

座長	統括診療部長	小川 哲史 先生
「地域医療と医療センターを結ぶ地域医療連携」	地域医療支援・連携センター長	佐藤 正通 先生
「かかりつけ医から見た医療連携」	岡本内科クリニック 院長	岡本 克実 先生

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(センカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

第18回 市民公開講座報告

『女性に多いがん ～乳腺・甲状腺がん～』



第二外科診療部長 鯉淵 幸生

平成26年2月8日 大雪の中、エテルナ高崎で第18回 市民公開講座が行われ、その中の「乳腺・甲状腺がん」を担当しました。

私の話の内容は、乳がんに関しては、

1. 乳がんは千差万別
2. 遺伝性乳がん
3. 乳房再建の話

甲状腺がんに関しては、

1. 甲状腺がんは千差万別
2. 遺伝性甲状腺がんの話
3. 放射能と甲状腺がんの話

その内容の一部についてかいつまんで述べたいと思います。

乳がんは、※表1のように非浸潤癌と浸潤癌に分類されます。そのうち非浸潤癌は転移することなく、浸潤癌は転移の可能性があり薬物療法が重要になります。浸潤癌は※表1のようにエストロゲン受容体とHER2受容体の有無により4種類のサブタイプに分類され、それぞれ性質も治療法も異なります。その中で、遺伝性乳がんと言われるものはtriple negative typeに分類され、悪性度高いがんです。有名な女優のAJさんが乳房摘出を行った理由もそこにあります。

表1 乳がん

1. 非浸潤癌

2. 浸潤癌	エストロゲン受容体	HER2
•Luminal A	+	-
•Luminal B	+	+
•HER2 type	-	+
•Triple negative	-	-



第18回 市民公開講座報告

前ページより

甲状腺がんは※表2のように4種類に分類されます。日本人では乳頭がんが最も多く、その性質はおとなしく増殖速度は緩徐で、転移しづらく予後（治りやすさ）は良好です。放射線ヨードの影響で発生するのもこのタイプのがんで、過度の心配は不要であると専門家は考えています。遺伝性甲状腺がんは髄様がんというタイプのがんで、原因遺伝子が特定されています。この遺伝子が陽性の方の場合は100%、甲状腺髄様がんが発生しますので、予防的甲状腺切除が推奨されています。

表2 甲状腺がん

・ 濾胞細胞由来		10年生存率
1. 乳頭がん	: 75 %	93 %
2. 濾胞がん	: 15 %	85 %
3. 未分化がん	: 2-3 %	0
・ 傍濾胞細胞由来		
1. 髄様がん	: 5-8 %	75 %

乳がんはマンモグラフィ検診が広く普及しています。また、甲状腺がんについても、乳がん検診の触診の際に甲状腺の診察も同時に行われる事が多いです。過度に恐れることなく、定期的に検診を受診されることをお勧めします。



第18回 市民公開講座報告

『女性に多いがん ～子宮頸がん～』



産婦人科医長 青木 宏

①**子宮頸がん**とは;子宮頸部にできたがんで子宮体がんとは異なる病気です。女性特有がんである乳がん・子宮体がん・卵巣がんは増加傾向にある一方、子宮頸がんは減少傾向にあります。年間約9800人の方が患い、約2700人の方が死亡する怖い病気です。20歳前半から急激に増え始め、30歳～40歳代に最も多くみられ、若い方がなりやすく、特に20歳代ではここ数年急激に増加してきている病気です。

②**原因**;ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染でなることが分かっています。性的接触により感染しますが、子宮頸がんとの関連性が強い型は13種類あり、その中で16型と18型の頻度が高く、この二つで約60%を占めています。HPVの感染は多くの人に起こることですが、9割の方は免疫力により自然に排除されます。わずかの方(約1%未満)が排除されずに感染が続き、数年から十数年の経過でがんになることも分かっています。

③**検診と治療**;初期では無症状なことが多く、検診が非常に大切となります。20歳から検診の対象となりますが、米国では80%以上の検診率に対し、日本では20%台と非常に低い事が問題点です。検診では細胞診(綿棒やブラシにより子宮頸部をこすって細胞を採取する検査)により異常の有無を確認します。異常を認めた場合には二次検診が必要となります。がんやがんに近い状態では治療が必要になり、初期の状態で見つければ子宮の温存が可能です。進行した状態では子宮の摘出や放射線治療が必要となります。

④**HPVの感染予防**;日本では2009年よりHPVワクチンの接種ができるようになりました。16型と18型の感染を予防しがんの発症を予防します。初交前に接種することが最も効果的です。2013年4月1日より定期接種に追加されましたが、ワクチン接種後に持続する痛みを訴える方がおり専門機関で調査中です。

⑤**子宮頸がんにならないために**;HPVワクチン接種によって予防できるのは16型と18型によるもので、子宮頸がん全体の約60%です。また、HPVワクチンは接種時すでに自然感染しているHPVや、子宮頸部病変に対しての治療効果はないため、HPVワクチン接種いただくことと、接種後も定期的に子宮頸がん検診を受け早期発見に努める事が重要となります。

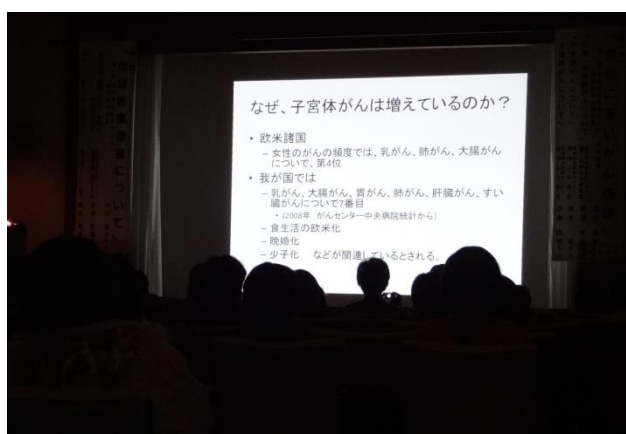
第18回 市民公開講座報告

『女性に多いがん ～子宮体がん～』



産婦人科部長 伊藤 郁朗

当日は、大雪の中、多くの皆さんが集まってくださり大変ありがとうございました。私は、女性に多いがんとして、子宮体がんに関する講演を行いました。子宮体がんは、胎児を育てる子宮の内側の子宮内膜から発生するがんです。以前は、子宮頸がんにくらべて、罹患する人は少ないとされていました。近年では増加傾向にあり、最近の統計では、子宮頸がんにかかる人が年間約1万人に対して、子宮体がんは1万1千人と逆転しています。40歳代から多くなり、50歳から60歳代の更年期から閉経後に罹患する人が多くなっています。症状としては不正出血が代表的であり、早期発見のためには、月経以外に断続的に出血があったり、閉経後の不正出血があったりした場合には早めに検査をうけてもらうことが必要です。最近の研究では、高脂肪の食事摂取や、多量のアルコールは子宮体がんのリスクを上昇させるとされています。また、月経不順、妊娠歴のない方や、授乳のない方もリスクが上昇するという報告があります。一方、適度な運動や、太りすぎないことはそのリスクを下げるのではないかとされています。こうしてみると、糖尿病や高血圧などメタボリック症候群を予防するような食生活や生活習慣が子宮体がんのリスクも減少させるようです。まずは、生活習慣で予防して、不正出血があったら早期に婦人科を受診して検査を受けてもらうようお願いいたします。



第18回 市民公開講座報告

『大雪の最中

～第18回 市民公開講座を終えて～』



地域医療支援・連携センター
センター長

佐藤 正通

佐藤センター長

岡本医師

第18回市民公開講座を開催させて頂きました。未明からの大雪で足元が悪いなか、多くの市民の方々にご参加頂き大変感謝しております。市民公開講座は、各種がん診療に纏わる診療内容や最新の知見を市民の皆さんへ解り易く講演させて頂く事を主旨としており、このごろでは市民の皆さんとの情報共有の場として定着してきております。私も医師として診療を行っておりますが、診察室を出た場所での皆さんの生の思いや意見、そして医療への願いを聞く機会はそうあるものではありません。

この度は高崎医師会地域連携担当理事であり、当センター地域連携委員であります岡本克実先生と共に現行の保険診療や医療の向かう方向性、高崎地域での医療連携の取り組みなどを講演させて頂きました。がん診療領域においても既にごん地域連携パスが当高崎の地においても運営され、多くの方々に利用されております。公益性、公共性を求められる保険診療にあっては皆さんからの公的資金によって運営されるため、一定のルールが必要であり、財源に見合った診療提供でなければ破綻してしまいます。近年においては医療、介護、福祉を含めた社会保障制度はその発展により、より高度にそして複雑に、現在この国が面している喫緊の課題や問題点の改善に向け日本国内全ての地域で展開されております。2年に一度訪れる診療報酬改定の時には、一体誰が、何処で、出資者であり消費者と成り得る国民に対し、この高緻な診療報酬体系を説明しているのか、と疑問になります。病院の窓口で思い知らされるだけ、というのは、いかんとも人権が担保されている高度文明社会の産物とは認識しがたく思われます。国や地域の現状認識は、為政者、施行者そして利用者が共に同等の理解を共有しなければ、現場での混乱に繋がります。そんな意味からも、今後においても診察室を離れた場所でのこのような講演会、説明会、情報交換会が必須と思われ、今後におきましても高崎総合医療センターは地域の先生方と共に地域住民の皆さんへの情報提供を推し進めて参ります。皆さんとの触れ合いを通してとても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

市民健康医学講座報告

『画像診断検査について』



放射線画像診断科医長 佐藤 洋一

先日、市民医学公開講座を担当させていただきました。熱心な市民の方、その他、医師、看護師、技師に御静聴いただきました。市民の方から細かな質問があり、時間が短いながらも質疑応答させていただきました。以下に簡単ですが御報告させていただきます。

まず、1日における外来検査数や検査の種類、目的などまた簡単であります。CTやMRIの歴史、原理、注意点を話させていただきました。当センターでは、曜日により違いがありますが1日約単純レントゲン写真200件程度、CT約70～100件、MRI約30件、血管造影7、8件前後、核医学検査10件前後を施行させていただいております。そのうち、放射線診断科にてはCT、MRI主体に1日CT約80件、MRI 30件程度を読影させて頂いています。

また、近隣の連携先生方からの御紹介のCT、MRI、核医学検査の各種検査を担当させていただいております。また、他科からの依頼によりCTガイド下生検やドレナージ留置、血管造影なども担当させていただいております。

最近の画像検査の進歩は早く、患者さんの侵襲が少なく、造影剤を用い、CTにては血管、動脈系の細かな描出が可能です。また、空気を注入し腸管をふくらませ仮想大腸内視鏡なども可能です。

尿管結石の成分の分析や肺動脈血栓塞栓症のヨードマップ画像もございます。MRIにては、胆道系の描出に優れるMRCPや脳神経系がよくわかるCISS画像や尿路系のMR urographyなどがあります。

市民医学講座として、各種検査、CT、MRI、特に造影検査の受ける点での注意点や安全性についても簡単ながら話させて頂きました。

高崎総合医療センター画像診断科にては院内はもとより、ご紹介いただいたCT、MRI、核医学検査の迅速適切な検査、読影に努めていきたいと考えております。また、当科では、他科から紹介、ご依頼を通じ、**ストロンチウム-89による骨転移疼痛緩和治療**を行っております。Stage I期甲状腺癌全摘症例のヨード-131アブレーション治療も施行いたしております。

今後とも何卒よろしく、ご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

がん診療連携拠点病院 がん講演会報告

～「“エンド・オブ・ライフ・ケア”を考える」～



がん性疼痛看護認定看護師

副看護師長 羽鳥 裕美子

平成26年1月30日(木)に院内・院外の医療者に向けて講演会を開催させていただきました。当日は、お忙しい中多くの方に参加いただき感謝申し上げます。今回、このテーマをもとに講義させていただいた内容を紹介したいと思います。

将来の日本は、超高齢化、若年層人口の減少、慢性疾患の増加、単独世帯と核家族化世帯の増加に伴い、「エンド・オブ・ライフ」にケアが必要な人が増加していきます。しかし、このケアを必要とする人を支える社会的基盤の弱体化が懸念されます。私たち医療者は、この「エンド・オブ・ライフ」に必要なケアの重要性を認識していかなければならないと思います。

エンド・オブ・ライフ・ケアとは、老いや病などにより、人が人生を終えるまでに必要とされるケアのことです。疾患を限定せず、高齢者も対象とし、人のライフ（生活・人生）に焦点をあてていきますから、緩和ケアよりもっと広い範囲の概念となります。QOL（Quality of Life＝生活・人生の質）を人生の最期まで最大限に保ち、その人にとってのよい最期を迎えられることを目標とします。目標達成のために、尊厳ある人生のために話し合うアドバンス・ケア・プランニングが重要とされています。患者さん・ご家族の価値観や人生の目標を理解し、これからの人生の計画も含んだ治療・ケアに関する話し合いを継続的に行っていくことです。このプロセスを「アドバンス・ケア・プランニング」といいます。人が将来判断能力を失った際に、自らに行われる行為に対する意向を前もって示すこと（アドバンス・ディレクティブ＝事前指示）、急変時や末期状態で心停止・呼吸停止の場合に、蘇生処置をしないという取り決めのこと（DNAR＝Do Not Attempt Resuscitation）なども含まれます。患者さんのその時々気持ちや意向を医療スタッフとご家族が受け止めて、患者さんにとっての最善を共に考えていく事、将来、意思決定能力が低下した時にも望む医療を提供できるようにすることが重要と考えます。



次ページへ

がん診療連携拠点病院 がん講演会報告



前ページより

エンド・オブ・ライフにある患者さん・ご家族の意思決定を支えるために、私たちは、真実をお伝えし、必要な情報が提供されるように関わっていかねばなりません。この時期に伝えられる内容は、悪い知らせであることが多いのが現実です。オープンで誠実なコミュニケーションを心がけ、患者さん・ご家族の意向を十分に把握し、不安が最小限になるような関わりが必要になります。コミュニケーションが患者さん・ご家族に対するケアになるよう、心情に焦点をあてていくことが重要です。エンド・オブ・ライフ・ケアにおいて医療者は、『何かをする』ことだけでなく、患者さん・ご家族と『ともにいる』ことが重要と考えます。

最後に故シシリー・ソンドース氏の言葉を紹介します。

“あなたはあなたのままで大切なのです。あなたは人生最期の瞬間まで大切な人です。ですから私たちは、あなたが心から安らかに死を迎えられただけでなく、最期まで精いっぱい生きられるように最善を尽くします。”

この言葉を大切に、今後も地域の医療の質の向上を目指していきたいと思えます。来年度も講演会および事例検討会を企画していく予定ですのでたくさんの方の参加をお待ちしております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



医療・介護に関する勉強会の報告

～看護と介護の連携第1弾 !! 勉強会を初開催～



地域医療支援・連携センター

副看護師長

高田 美和子

平成26年2月13日(木)、看護・介護に関する勉強会を行いました。退院支援を通して医療依存度の高い患者さんを地域へと支援する中、住み慣れた環境で少しでも長く生活が送れるためには看護と介護の連携も重要と考え、初めて企画いたしました。

今回は「脳卒中再発の早期発見法について」、「誤嚥性肺炎を予防するための食事介助の注意点について」という2つのテーマを取り上げ、当センターの大谷 敏幸脳神経外科医長と上田 吏江子言語聴覚士に講演をお願いしました。

「脳卒中再発の早期発見法について」では、脳卒中の再発の頻度を交え再発率の高い疾患であること、脳卒中の初期症状と対処、治療から予防までの基本的知識等についてのお話がありました。シンシナチ病院前脳卒中スケール＝「脳卒中『顔・腕・言葉』ですぐ受診！」の合唱は、強く印象に残りました。

「誤嚥性肺炎を予防するための食事介助の注意点について」では、食事介助時の注意点だけでなく、食前の口腔内のチェックや清潔ケアの重要性、また食後の誤嚥を防ぐための姿勢や観察ポイントについてお話がありました。両者とも基礎知識から、看護・介護現場ですぐに活かせる実践的内容にわたってのお話で、参加者からも「ポイントが分かり参考になった」、「具体的でわかりやすかった」、「すぐに現場で活かせる知識だと思う」などのご意見をいただきました。

質疑応答でもたくさんの質問が寄せられ、勉強会終了後も参加者と講師とのディスカッションが続きました。さまざまな意見を伺い、現場で抱える不安や問題の共有を図っていくことが必要と感じました。医療の必要性の高い要介護者は今後さらに増加していくと考えます。医療と介護がしっかり連携し、互いの想いや事情も共有しながら、要介護者の生活を支えていくことが重要だと、改めて実感しました。

平日の夜という時間帯にもかかわらず、看護・介護に携わる大勢の方に参加していただきました。180名を越える参加申し込みをいただきましたが、会場の都合で160名に人数を制限させていただきましたこととお詫び申し上げます。

勉強会後のアンケートでは、今後も勉強会を開催してほしいというご意見を多数いただきました。また、希望するテーマとして「異常、病気早期発見」、「心疾患について」、「認知症について」、「精神疾患の方の接し方」、「心のケア」、「緩和ケア」、「介護職員ができるリハビリ法」、「ターミナルケア」、「胃ろう」、「薬の基礎知識」などのご意見をいただきました。これらのご意見をもとに、定期的に勉強会を実施して参りたいと思います。そして勉強会の場が、情報共有の場となり、互いを知り合う場になればと思います。

がん患者さんやそのご家族の集いです

ほっとさろん・たかさき



お茶を飲みながら
病気のことや日々の生活のことなど
お話しませんか？

当日は、高崎総合医療センター相談支援センター
の看護師やソーシャルワーカーも参加いたします。

当センターでは、がん
さろんを毎月1回開催し
ております。

がん患者さんやその
ご家族に、ご自由に参加
して頂いております。

事前の申し込みは必要
ありません。

とき：平成25年	4月26日（金）	5月24日（金）
	6月28日（金）	7月26日（金）
	8月23日（金）	9月27日（金）
	10月25日（金）	11月22日（金）
	12月20日（金）	
平成26年	1月24日（金）	2月28日（金）
	3月28日（金）	

毎回 13時 30分～15時 30分

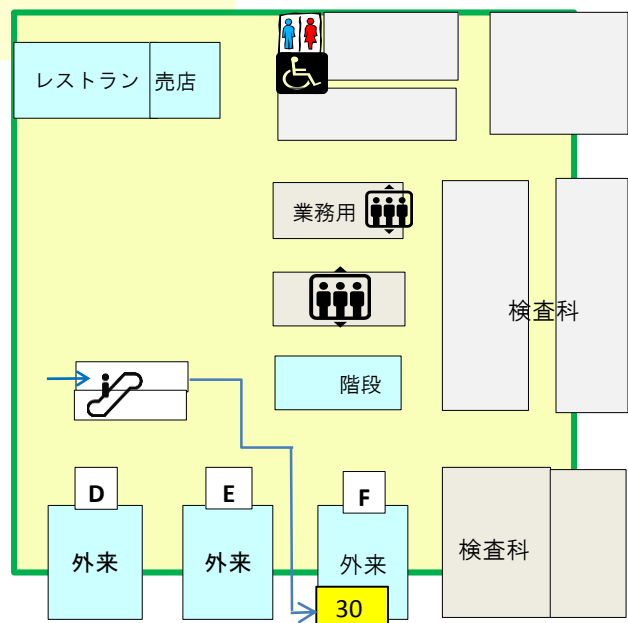
ところ：※開催場所が、下記に変更となりました。

高崎総合医療センター2階,Fブース30番の診察室。

皆さまのご参加を
お待ちしております。

●当院へ駐車の場合、駐車料金（4時間まで200円）がかかります。
ご了承下さい。さろんについてのお問い合わせは、高崎総合医療センター
癌相談支援センターまでお願い致します。
電話：027-322-5901(病院代表)

2階ほっとさろん案内図



医療機器共同利用のご案内

～医療機器共同利用について～

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただき、患者さんの診療および治療に役立てていただくため、医療機器の共同利用を行っています。

このシステムのご利用にあたり、手続きが必要です。手続きに関するお問い合わせは、地域医療支援・連携センターまでご連絡ください。

<お問い合わせ>

地域医療支援・連携センター
(平日 8:30～17:00の間)

直通電話 027-322-5835
直通FAX 027-322-5925

○検査項目一覧

CT	通常撮影の他に		
	・CTAngio	脳血管	
		胸部大動脈	
		腹部大動脈	
・CTコロノグラフィ	下肢血管		
・Dual Source CT	大腸		
MRI	通常撮影の他に		
	・MR Angio	脳血管	
		冠動脈	
	・MRトラクトグラフィ		
	・MR VSRAD		
	・MRS		
・MRCP			
核医学検査	・頭部	脳血流シンチ	IMP
			ECD
		神経受容体	ベンゾダイン
	・頭頸部	唾液腺シンチ	TcO ₄ ⁻
	・甲状腺	ヨード摂取率	
		副甲状腺	MIBI
	・肺	換気	Kr
		血流	MAA
	・心臓	安静心筋	Tc・MIBG
		薬物負荷心筋	Tc
		心筋脂肪酸代謝	2核種
	・腹部	副腎皮質	アドステロール
副腎髄質		I-123MIBG	
腎臓			
・全身	骨		
	ガリウム		

※ 核医学の検査項目は実施できる曜日が限られております。キャンセルが出来ません。

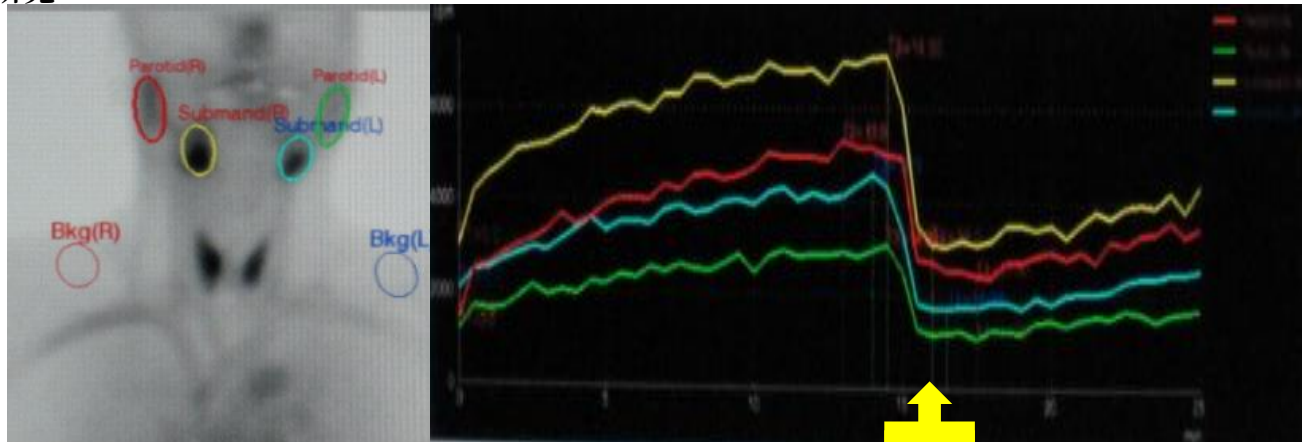
事前準備が必要な場合がございますので、予約の際に当センター放射線技師が対応いたします。

唾液腺シンチ (唾液腺腫瘍、唾液腺炎、シェーグレン症候群など)

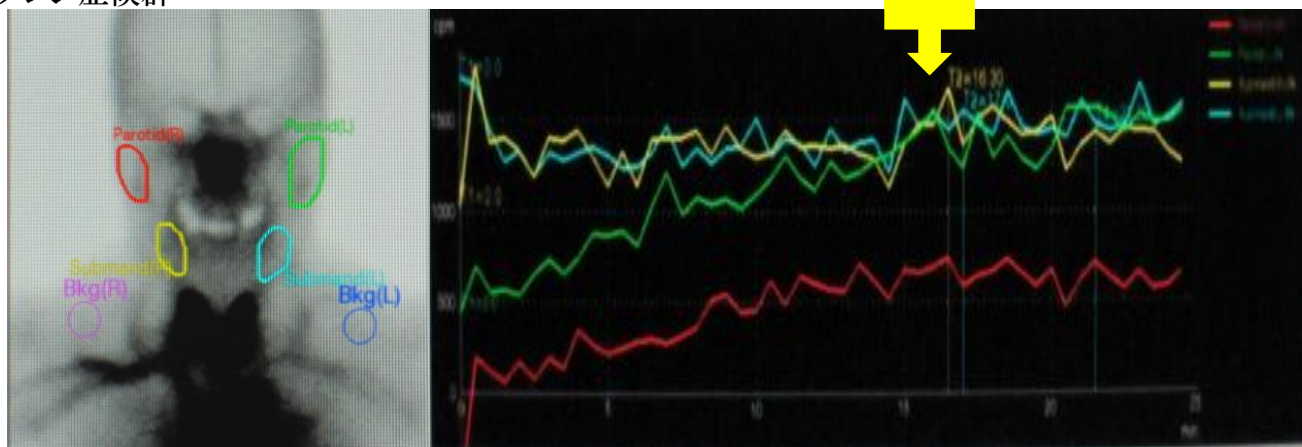
$^{99m}\text{TcO}_4^-$ のRI薬品を使用して、耳下腺、顎下腺の機能を評価できます。この検査では、唾液の生成及び排泄の機能がわかります。また、グラフにより集積・排泄がわかりやすく表示できます。

前処置：検査直前の飲水

正常所見



シェーグレン症候群



臨床評価方法

腫瘍性病変及びシェーグレン症候群が主な適応疾患

腫瘍性病変では集積の有無と排泄反応の程度により唾液腺由来なのかその周囲組織なのかが判別可能となる。

シェーグレン症候群では集積及び排泄反応共に鈍いとされる。

同様に反応性が悪い疾患として、唾液腺炎やサルコイドーシス、放射線照射後の障害などがある。

検査の流れ



検査時間は約1時間で終了。

その後データ (写真) を引き渡し、費用は3割負担で約1万円となります。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

◆◇対象患者さん◆◇

- ・現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- ・現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- ・原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- ・相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

◆◇実施診療科◆◇ 【各科の専門医が対応いたします】

内科・神経内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科
外科・乳腺、内分泌外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科
皮膚科・産婦人科・泌尿器科・眼科・放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科

◆◇予約方法◆◇

*完全予約制です

受付時間 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※ 精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄となります

事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

代表 027-322-5901 にお電話頂きセカンドオピニオン係とお申し付け下さい

◆◇セカンドオピニオン外来時間◆◇

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整
(診療科によって曜日は異なります)

◆◇費用◆◇

30分 5,250円(税込)とし、1回 10,500円が上限となります

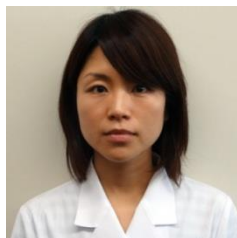
セカンドオピニオン外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火曜日
神経内科	石黒 幸司	神経内科学、神経内科一般、水頭症の診断と治療	金曜日
精神科	井田 逸朗	メンタルヘルス	月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日
呼吸器内科	茂木 充	呼吸器全般	金曜日
	清水 雄至	呼吸器全般、アレルギー疾患(眼・鼻・皮膚・眼除く)	火曜日、金曜日
消化器内科	高木 均	肝臓、胆、膵臓	火曜日、水曜日
	工藤 智洋	食道、胃、大腸	火曜日、木曜日
	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	木曜日
循環器内科	佐々木 豊志	冠動脈インターベンションの適応、バイパス手術の適応、浸襲的治療の可否、循環器全般	金曜日
	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療(カテーテル治療)	金曜日
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水曜日
外科	饗場 正明	消化器外科全般	水曜日(14:30~15:30)
	坂元 一郎	消化器外科全般	水曜日
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	金曜日(午前)
整形外科	新井 厚	脊椎・脊髄疾患、整形外科全般	月曜日
脳神経外科	栗原 秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火曜日
	笹口 修男	脳血管障害	木曜日
呼吸器外科	菅野 雅之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木曜日
心臓血管外科	坂田 一宏	心臓血管外科全般(小児などの先天性疾患は除く)	木曜日
皮膚科	龍崎 圭一郎	皮膚外科、皮膚腫瘍	火曜日
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍、緩和ケア	火曜日、金曜日
泌尿器科	牧野 武雄	泌尿器科全般	金曜日
眼科	土屋 明	眼科全般(眼腫瘍を除く)	水曜日、木曜日
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木曜日(平成24年7月~)
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火曜日
放射線治療科	北本 佳住	悪性疾患の放射線治療	火曜日
歯科口腔外科	高崎 義人	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月曜日、水曜日、木曜日

医師 紹介コーナー



当センターの医師を紹介します



小児科 小林 美帆 (こばやし みほ)

こんにちは。小児科の小林美帆です。昨年4月から高崎総合医療センターで働き始め、早いものでもうすぐ1年が経とうとしています。

私の生まれは前橋で、少し野生的な保育園から楽しい女子高までを前橋で過ごし、大学から県外へ出ました。横浜の文系大学をでた後、浪人生活を経て杏林大学医学部へ入り、初期研修を杏林大学病院で行い、昨年4月に地元に戻ってきました。

同期や上の先生方に恵まれ、居心地の良い環境のなかで働かせていただいています。そして毎日子どもたちから笑顔をもらっています。まだまだ駆け出しですが、将来自分のやりたい分野で良い仕事ができるよう、力をつけていきたいです。どうぞよろしくお願いします。



病理診断科 田中 優子 (たなか ゆうこ)

平成25年4月より、病理診断科で勤務しています。群馬県出身で、出身大学は群馬大学です。内科で3年間研修したのち、群馬大学大学院医学系研究科病態病理学(旧第一病理)で大学院生として4年間、助教として4年半を過ごしました。今回、長年の希望であった高崎総合医療センターに勤めることができるようになり大変嬉しく思っています。

病理医は不足しており、県内では、当センターと同程度の規模の病院においても「病理医は一人、ないし不在」、というのが一般的です。そのような中、当センターの病理部門は、病理医2名と検査技師7名(うち細胞検査士4名)で構成され、充実化しつつあります。皆で協力し研鑽を積み、医療の質の向上に貢献したいと思います。

登録医 ご紹介コーナー

● 当センターの登録医の先生をご紹介します。

小野垣 医院



小野垣 院長

【院長】小野垣 義男

【所在地】高崎市中居町3-39-2

【電話】027-352-2233

【診療科】内科・消化器科・循環器科

皆様のホームドクターとして病気の早期発見や医療管理の相談を担当し、専門病院への紹介を主体とした連携をしています。

特にがん等の早期発見をCT、超音波、内視鏡等により、数多くの早期がん発見、治療もしてきました。特殊外来も専門医により行っております。是非ご利用下さい。

外苑クリニック



【院長】三賀 史樹

【所在地】高崎市栄町1-10 サンライズ 2階

【電話】027-386-9873

【診療科】心療内科・精神科

現代社会は便利、快適である一方で、人の心の諸問題、人間関係のストレスなど、複雑化することがらもたくさん存在します。

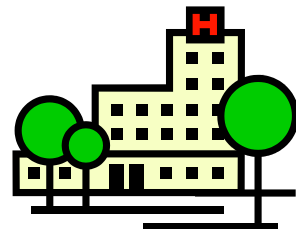
これらが和らぎ、皆さんの生活が少しずつでも豊かなものになれば、と願っております。

精神医療は従来の堅苦しきから脱却し、もっと身近な、親しみの持てる領域になりつつあると感じております。私たちにできる診療、相談、援助があれば、ぜひ外苑クリニックにいらしていただきたいと思っております。

高崎総合医療センター 外来診療担当表

(平成26年3月1日現在)

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通	合田 史	合田 史 <small>午前・一般 午後・予約専門外来</small>	佐藤 正通	佐藤 正通
	渡邊 俊樹	渡邊 俊樹	(大 高 行 博)	渡邊 俊樹	(川 田 悦 夫)
	相馬 宏光	相馬 宏光			
内分泌代謝外来		(石井角保) 午後	(道又敏夫)	(大井晋介) <small>(安部 純) 午後・糖尿病</small>	
リウマチ外来	井上 誠				井上 誠
神経内科	金井 光康 <small>(櫻井篤志) 午後のみ・紹介・予約</small>	石黒 幸司	交 替 <small>(再診のみ)</small>	金井 光康	(櫻井篤志)
	呼吸器内科	茂木 充 <small>予約のみ</small>	清水 雄至	茂木 充	清水 雄至
消化器内科	相澤 智弘		原田 直之	原田 直之	相澤 智弘
	高木 均	高木 均	宮前 直美	工藤 智洋	高木 均
	長沼 篤	星野 崇	林 絵理	長沼 篤	工藤 智洋
	林 絵理 <small>新患のみ</small> (蘇原直人) 午後	小柏 剛	上原 早苗	小柏 剛	星野 崇
内視鏡検査	星野／上原	工藤 智洋	相馬／小柏	高木／宮前	長沼／林
循環器内科 <small>(ハートモニター外来)</small>	佐々木 豊志	福田 延昭	佐々木 豊志	佐々木 豊志	柳澤 三朗
	齋藤 章宏	岩瀬 晴香	広井 知歳	静 毅人	小林 紘生
	小林 洋明	(金澤紀雄) <small>再診のみ</small>	静 毅人	福田 延昭	(本多忠暁)
	静 毅人 <small>新患のみ</small>			齋藤 章宏 <small>(金澤紀雄) 再診のみ</small>	
精神科	井田 逸朗	井田 逸朗	井田 逸朗	井田 逸朗	井田 逸朗
	須藤 哲	須藤 哲	須藤 哲		須藤 哲
小児科	奥野 はるな	宮川 陽一	神尾 綾乃 <small>乳児検診・一般</small>	宮川 陽一	佐藤 幸一郎
	五十嵐 恒雄 <small>午前のみ・紹介・予約</small>	佐藤 幸一郎	五十嵐 恒雄 <small>午前のみ・紹介・予約</small>	奥野 はるな	橋本 真理 <small>午前のみ・紹介・予約</small>
	小林 美帆 <small>紹介・予約</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後のみ・紹介・予約</small>	奥野 はるな <small>午後のみ・紹介・予約</small>	佐藤 幸一郎 <small>午後のみ・紹介・予約</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後のみ・紹介・予約</small>
	佐藤 幸一郎 <small>午後のみ・紹介・予約</small>	神尾 綾乃 <small>午後のみ・紹介・予約</small>		橋本 真理 <small>午後のみ・紹介・予約</small>	宮川 陽一 <small>午後のみ・紹介・予約</small>
外科	坂元 一郎 <small>[消化器]</small>	<手術日>	饗場 正明 <small>[消化器]</small>	小川 哲史	清水 尚
	宮前 洋平			茂木 陽子	戸谷 裕之
ストーマ外来			第2・4週日午後のみ・予約	第1・3・5週日午後のみ・予約	
泌尿器科	(牧野 武雄)	(高橋 悟)	(松井 強)	(牧野 武雄)	(牧野 武雄)
緩和医療科	田中 俊行		田中 俊行	田中 俊行	田中 俊行



当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

高崎総合医療センター 外来診療担当表

(平成26年3月1日現在)

	月	火	水	木	金
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 <small>〔乳腺・甲状腺〕</small>	鯉淵幸生 <small>〔乳腺・甲状腺〕</small>	鯉淵幸生 <small>〔乳腺・甲状腺〕</small>	(高他大輔) <small>隔週</small>	鯉淵幸生 <small>第2・4週目</small>
		小田原 宏樹	小田原 宏樹		小田原 宏樹 <small>第1・3・5週目</small>
					常田 祐子
心臓血管外科	<手術日>		山岸 敏治	坂田 一宏	
呼吸器外科		渥 實 潤	<手術日>	菅野 雅之	
整形外科	新井 厚	<毎週交替>	新井 厚	<手術日>	大澤 敏久
	荒 毅	(須藤 執道)	大澤 敏久		園田 裕之
	園田 裕之	(柳澤 信明) <small>午後</small>	荒 毅		
形成外科	<手術日> <small>(午前)</small>	内田 悦弘	<手術日> <small>(午前)</small>	内田 悦弘	
脳神経外科	吉田 貴明	栗原 秀行	<手術日>	笹口 修男	大谷 敏幸
皮膚科	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎 <small>〔学歴外来〕午後予約</small>	<手術日>	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎
	岡田 悦子	岡田 悦子		岡田 悦子	岡田 悦子
産婦人科	伊藤 郁朗	伊藤 郁朗	矢崎 聡	片貝 栄樹	伊藤 郁朗
	片貝 栄樹	片貝 栄樹	(木暮 圭子) <small><産後相談></small>	多胡 佳織	青木 宏
	矢崎 聡	青木 宏		(金井 眞理)	多胡 佳織
眼科	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
放射線治療科	北本 佳住 <small>紹介・予約</small>	北本 佳住 <small>紹介・予約</small>		北本 佳住 <small>紹介・予約</small>	北本 佳住 <small>紹介・予約</small>
	永島 潤 <small>紹介・予約</small>	永島 潤 <small>紹介・予約</small>		永島 潤 <small>紹介・予約</small>	永島 潤 <small>紹介・予約</small>
歯科口腔外科	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>	<手術日>	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>
	稲川 元明 <small>紹介・予約</small>		稲川 元明 <small>紹介・予約</small>	稲川 元明 <small>紹介・予約</small>	稲川 元明 <small>紹介・予約</small>
	片山 雅文 <small>紹介・予約</small>		片山 雅文 <small>紹介・予約</small>	片山 雅文 <small>紹介・予約</small>	片山 雅文 <small>紹介・予約</small>
	萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>		萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>	萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>	萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>
	引田 正宣 <small>紹介・予約</small>		引田 正宣 <small>紹介・予約</small>	引田 正宣 <small>紹介・予約</small>	引田 正宣 <small>紹介・予約</small>
摂食・嚥下、口腔 ケア外来				稲川 元明 <small>紹介・予約</small>	
				(佐藤 光保) <small>紹介・予約</small>	

- (注) 1. 受付時間は08:30～11:00迄となっております。予約の場合は、最終予約時間迄となっております。なお、再来受付機は08:15から受付しております。
 2. 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
 3. 土、日、祝日、年末年始は休診です。
 4. 紹介状のお持ちの方、紹介事前予約の方は、地域医療支援連携センター窓口で受け付けております。
 5. 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。
 6. 待ち時間を少なくするため予約診療をお勧めします。診療予約は、各科外来で医師にご相談ください。
 7. ()の医師は非常勤です。

当センターへ紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通じた事前予約にご協力下さい。

行事などのお知らせ ～当センターで実施する行事等～

【市民健康医学講座】

『考えるよりやってみよう！糖尿病』

講師：栄養管理室長 田中 晴美

日時：平成26年4月16日(水)

18時～

場所：当センター2階 大会議室

対象：一般の方、医療従事者



【Cancer Board】

『症例検討特集』

日時：平成26年4月18日(金)

18時～

場所：当センター2階 大会議室

対象：医療従事者

【がん診療連携拠点病院講演会】

『がん患者の有する全人的苦痛のマネジメント』

日時：平成26年3月20日(木) 18時30分～20時

場所：当センター2階 大会議室

対象：医療従事者



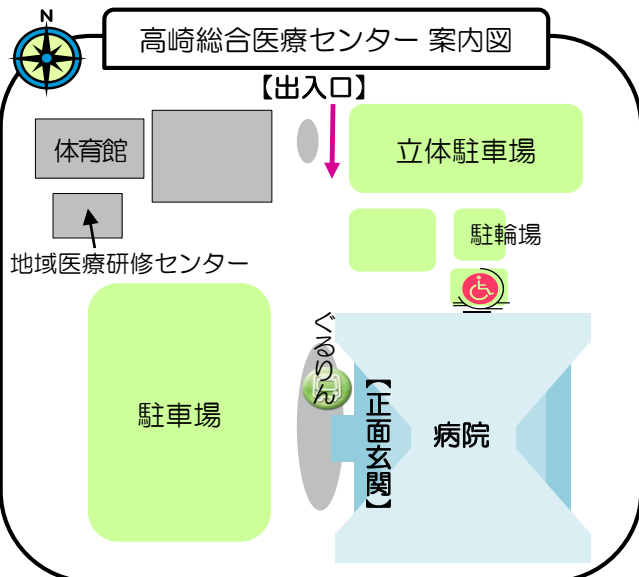
【在宅・施設で胃ろうカテーテル交換を行います】

ぐんま栄養療法ネットワーク・高崎では、自宅で療養している患者や介護施設などに入所している患者に訪問して胃ろう交換を行います。ご希望の方は主治医にご相談の上、下記までご連絡下さい。

訪問日：毎月第3火曜日 午後（事前予約制）

連絡先：高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

直通電話：027-322-5835(8時30分～17時)



●●● バックナンバー ●●●

当センターのホームページより広報紙バックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.tnho.jp/koho/index.html>

■●■ 編集室より ■●■

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835

(地域医療支援・連携センター直通)